

活動一覧 2011-12

主要実績

8,960万件

のセクシュアル／リプロダクティブ・ヘルス関連サービスを提供しました



260万件

の意図しない妊娠を予防しました*



116件

の政策・法律をセクシュアル／リプロダクティブ・ヘルス／ライツをより促進するように改正しました



71万件

の危険な人工妊娠中絶を予防しました



IPPF とは？

IPPF は、地球規模のサービス提供者であり、世界のすべての人々のセクシュアル／リプロダクティブ・ヘルス／ライツの主要な政策提言者です。コミュニティと個人のために、また、コミュニティと個人と共に活動する国レベルの組織による世界に広がる運動です。



153

加盟団体

何百万人

にも及ぶ
ボランティア

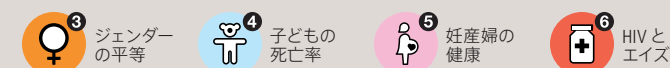
85%

の加盟協会での理事会メンバーの少なくとも一人は、若者です。

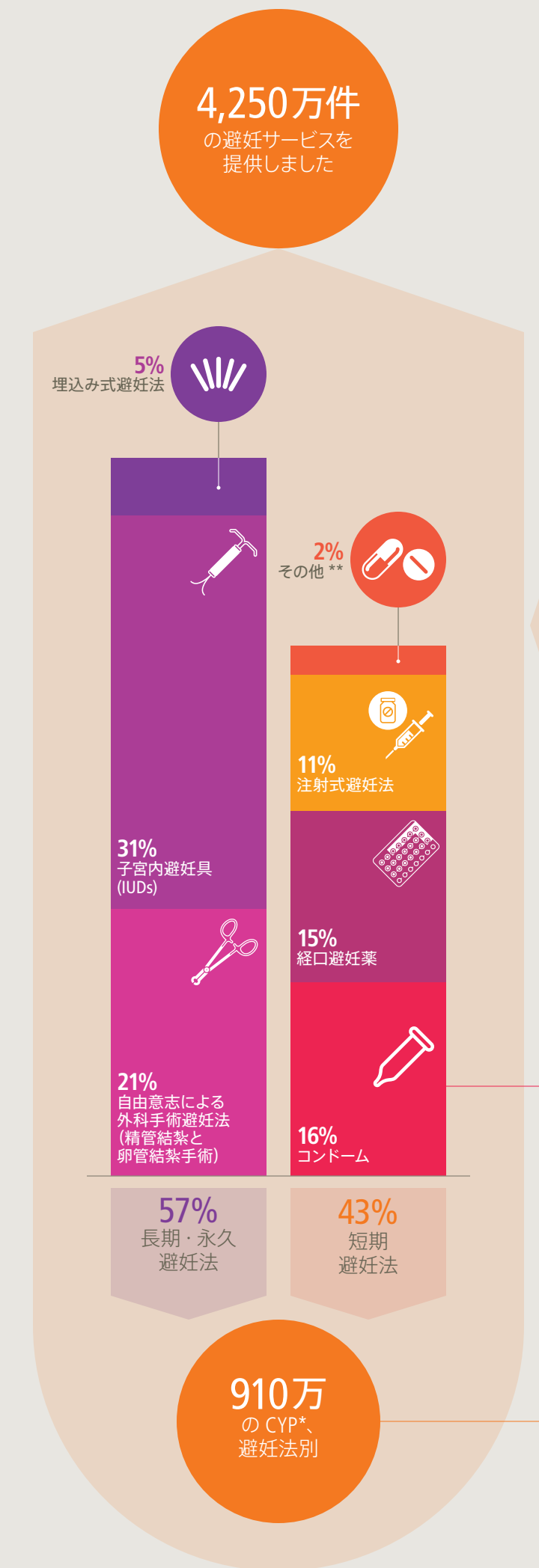
69%

の加盟協会でのスタッフの少なくとも一人は、25歳未満の若者です。

IPPF の活動は、4 つの MDGs の達成に貢献しています：



活動の成果

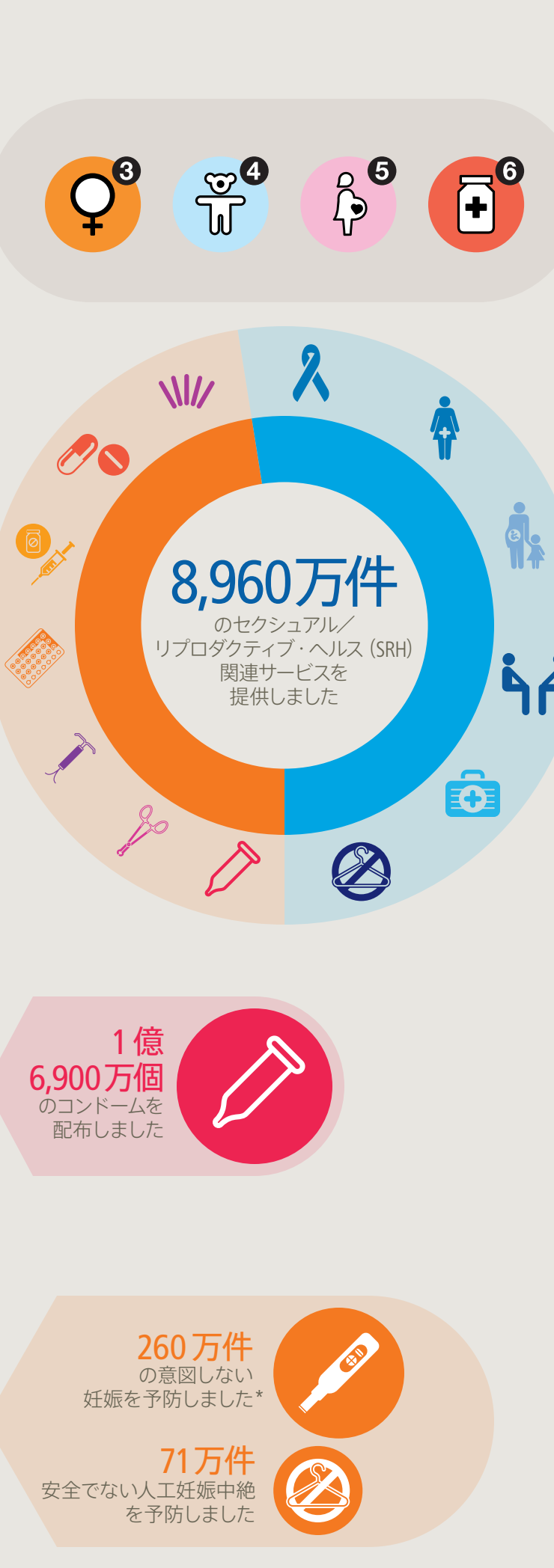


6 万 5,000 カ所のサービス
提供拠点の所在地

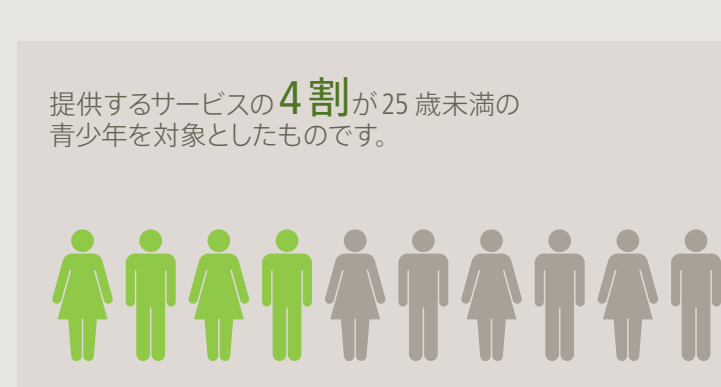
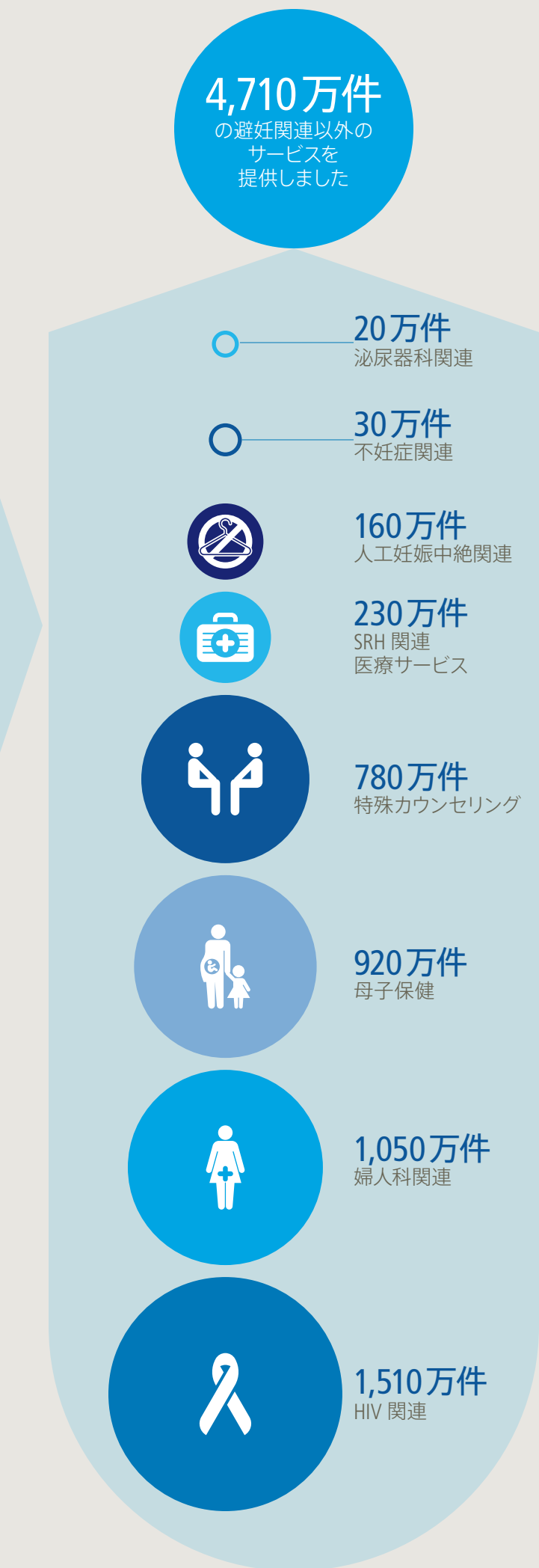


* CYP とは、カッブルに対する避妊法の年間提供給量のこと。予防した意図しない妊娠数は、1CYP あたり 0.288 件の妊娠が予防できるという換算に準ずるもの。

貧困層や社会的弱者に包括的サービスを提供しています。



** 緊急避妊を含む



将来を見据えて

IPPF の変革目標：「**結束する**」、「**行渡らせる**」、「**結果を出す**」で、2015 年までにより加速して業績を上げ、セクシュアル／リプロダクティブ・ヘルス／ライツについて最も大きな満たされないニーズを抱えている人々へのインパクトを最大にするためにフォーカスと優先項目が明確になります。これらの目標は、いかなる人権侵害をも許さない IPPF の姿勢を明らかにし、パートナーやドナー、一般の人々、そして自らへの説明責任を確実に果たすことを目指しています。



IPPF とその加盟協会の活動支援のための募金にご協力いただける場合は、IPPF のホームページ www.ippf.org からお願いします。または、IPPF 本部（英国ロンドン）までご連絡をいただきますようお願いいたします。

2012 年 8 月、国際家族計画連盟（IPPF）発行

4 Newhams Row, London SE1 3UZ, United Kingdom
電話 +44 (0)20 7939 8200
ファックス +44 (0)20 7939 8300
ホームページ www.ippf.org
電子メール info@ippf.org

政策提言活動の成果 (2005-11年)

IPPF の政策提言活動によって、より多くの人々がサービスを受けられるようになり、セクシュアル・ライツとジェンダーの平等を促進し、社会的汚名や差別を減らすことにつながる環境づくりをしています。加盟協会は、セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス/ライツを促進するよう政策や法律の改正をはたらきかけ、害を及ぼすものに反対することによって世界の何百万人もの人々の生活に大きな違いを生み出しています。



2005 年から
2011 年の間に、
加盟協会は、
130カ国
における性と生殖に
関する健康と権利に
関連する

451
の政策・法律の改正に
貢献しました。



テーマ別政策提言活動の成功例 (2011年)

65
の加盟協会がセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス/ライツを促進する

116 件
の政策と法律の改正を引き起こすことに貢献しました。

30
若者への教育とサービス

27
性と生殖に関する健康サービスへのアクセス

19
ジェンダーに基づく暴力予防

17
性と生殖に関する健康への国家予算配分

12
安全で合法的人工妊娠中絶へのアクセス

07
HIV と共に生きる人々向けの支援

02
緊急避妊へのアクセス

02
HPV (ヒトパピローマウイルス) ワクチンへのアクセス

西半球地域

ジェンダーに基づく暴力をなくすために

ラテンアメリカでは、約3人に1人の女性が生涯に身体的暴力を受け、約16%が性的暴力を受けた経験があります¹。この地域の女性の法的な権利は、大多数のジェンダーに基づく暴力が起きている家庭や個人の領域で、非常に保護が薄いものとなっています。多くの国で、家庭内暴力が表に出てくることは少なく、法律の範囲外の問題となっています²。

西半球地域の6つの加盟協会（ボリビア、ドミニカ共和国、エルサルバドル、グアテマラ、ハイチ）による政策提言活動の結果、家庭内暴力を犯罪としての女性に対する暴力とし、家庭内暴力をくぐりぬけた人々に対するサービスやサポートに関する基準を引き起こし、性的・ジェンダーに基づく暴力を減じることに貢献しました。加盟協会は、地域や国レベルの政策決定者、市民社会組織、法務省、メディアと協力することによって、これらの大きな変化を引き起こすことに成功しました。

アフリカ地域

避妊に対する経済的コミットメントを増大させる

世界で近代的避妊を希望しながらアクセスできていない2億2,200万人の女性の約4人に1人がサハラ以南アフリカに在住しています³。国際ドナーと国家政府による経済支援が不十分のために、避妊を行き渡らせるのに必要な資金が不足しています。

アフリカの加盟協会は、避妊への資金のコミットメントを強化させ、この不足額を減らすよう自国の政府を説得するために、政策提言活動をしました。ベニンでは、避妊具供給のための新しい予算項目ができましたし、セネガル、タンザニア、ウガンダでは、加盟協会が市民社会を結束させ、政府に避妊具供給のための予算を大幅に増額するよう説得するための協力体制を率いました。このいずれもが、国会議員、保健省や財務省の官僚を含む関係者が納得のいくような経済と開発に関する論理を打ち立てたり、メディアを通じてはたらきかけることにより、強力な反対勢力を乗り越えました。

欧州地域

安全で合法的人工妊娠中絶を確実に受けられるようにする

安全でない人工妊娠中絶のために、毎年4万7,000人の女性が亡くなっていますが⁴、中絶を制限するような法律は安全でない中絶による妊産婦死亡を助長することが明らかになっています。

欧州の加盟協会は、反選択派や宗教界、政治家や医師たちによる強大な反対勢力に打ち勝ち、7カ国において人工妊娠中絶に関する法律を改正するための政策提言活動に成功しました。ドイツ、ロシア、スロバキア、英国においては、加盟協会がたゆまぬ努力を重ねた結果、中絶へのアクセスに制限を加えるような法律の改悪を阻止しました。オーストリアでは、民間クリニックでは中絶にかかる費用が病院に比べてかなり高額になるので、同国の加盟協会は政治家と協力して、すべての病院が必ず中絶サービスを提供するよう法律を変えました。イスラエルとタジキスタンの加盟協会は、提言活動を行った結果、安全な中絶と中絶後ケアを含む中絶サービスの質を向上させることに成功しました。

アラブ・ワールド地域

HIV と共に生きる人々を支援する

中東および北アフリカにおける新規HIV感染者数は、2001年から2009年の間に2倍以上に増加し⁵、HIVと共に生きる人々の9割が社会的汚名や差別を恐れるあまり、治療を受けずにいます。HIV感染の危険にさらされている社会の周辺に追いやられた集団に的を絞った事業の実施が早急に必要となっています。

スーダンとシリアの加盟協会は、非常に保守的な環境の下で活動しながら、その政策提言活動によって、HIVに関する法律を改正することに成功しました。たとえば、スーダンでは、現在の国家HIV戦略計画は、服役者やセックスワーカー、男性とセックスする男性を含む社会から疎外された人々により焦点をおくようになりました。また、社会的汚名や差別の問題にどのように取り組むかを定め、リプロダクティブ・ヘルスとHIVサービスをどのように統合するかも概説しています。この計画によって、HIVと共に生きる人々が社会的汚名のない環境で、必要とする情報、支援、治療を受けられるように配慮されたものとなっています。

南アジア地域

女性の権利を促進する

パキスタンでは、宗教関連と他の保守的なグループからの強力な反対勢力が女性の権利を脅かしています。

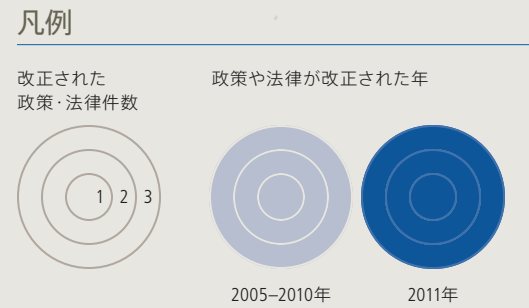
こうした問題にもかかわらず、IPPFパキスタン (Rahnuma-FPAP) は、たゆまぬ努力を続けた結果、強制婚とスワラ（問題解決の手段として女性や少女を結婚させるよう取引する慣習）を違法の犯罪行為とし、女性の相続権を支援する法案が議会通过しました。さらに、Rahnuma-FPAPは、硫酸を浴びせて女性に危害を与えた者に14年以上から終身の懲役と罰金を科す「硫酸コントロールと硫酸による犯罪予防法案」を作るよう政策提言をしました。市民社会と協力して、国会議員と強制婚をくぐり抜けた人々との会合の場を設けたり、政策立案者や官僚を対象に法案づくりに関する技術支援や、メディアを通じた啓発活動を行ったり、鍵となる国会議員に助言をした結果、その法案がこれらの議員によって国会に提出されました。

東・東南アジア・大洋州地域

包括的性教育の提供

IPPFの包括的性教育 (CSE) へのアプローチは、性の表現、満たされること、歓喜を強調しています。CSEは、青少年が、セックスと避妊に関する前向きで健康な選択ができるように支援するものです。しかしながら、多くの学校教育のカリキュラムに、CSEは、いままお含められていません。

オーストラリアとカンボジアの加盟協会は、それぞれの国の教育省と緊密に協力しながら、CSEを学校教育のカリキュラムに含めるべく活動しました。カンボジアの加盟協会は、国際的なパートナーと協力して、CSEとその利点について、教育省のスタッフと地元の当局関係者に研修を行いました。いまや青少年は、学校においてCSEを受けられ、ピアエドゥケーターが学校に通っていない若者向けにもCSEを行っています。オーストラリアでは、タスマニアの学生は、青少年の間で多発している意図しない妊娠と性感染症を減らすことを目指して始められる新たなCSE部門の恩恵を受けられる予定です。



1 UN Women (2011) Factsheet: Latin America and the Caribbean. Progress of the World's Women 2011-2012: In Pursuit of Justice. New York: UN Women.
2 UN Women (2011) Progress of the World's Women 2011-2012: In Pursuit of Justice. New York: UN Women.

3 Singh, S and Darroch, J (2012) Adding it Up: Costs and benefits of contraceptive services – Estimates for 2012. New York: Guttmacher Institute and UNFPA.
4 World Health Organization (WHO), Unsafe Abortion: Global and Regional Estimates of the Incidence of Unsafe Abortion and Associated Mortality in 2008, sixth ed. Geneva: WHO, 2011.

5 Guttmacher Institute (2012) Legalization alone does not guarantee availability of safe abortion services. 2012/05/10. New York: Guttmacher Institute.
6 UNAIDS (2010) Global Report Fact Sheet: Middle East and North Africa. Geneva: UNAIDS.

7 Solomon, E (2010) Interview: HIV stigma stifles outreach in Arab states. Dubai: Reuters.
8 Kirby, D, Laris, B and Rollieri, L (2005) Impact of sex and HIV programs on sexual behaviours of youth in developing and developed countries. Youth Research Working Paper Series, Paper No. 2. New York: Family Health International.